

令和2年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：自転車施策について（1）～活用編～

福岡県企画・地域振興部交通政策課

1 調査の目的

自転車は、子どもから高齢者まで幅広い世代において、通学、通勤、買い物、レジャーなど様々な目的で、最も身近に利用されている交通手段です。

自転車の活用により、二酸化炭素の削減、健康増進、観光振興などの効果が期待されます。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から自転車の利用が推奨されています。

このため、自転車の利用状況について、県民の皆様の意見を聴き、次期自転車活用推進計画策定の参考とする。

2 調査時期

令和2年11月11日～11月27日（第5回）

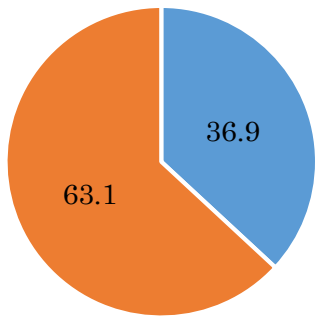
3 回答者の構成

		計	北九州	福岡	筑後	筑豊
総数	-	360 (100%)	76 (21.1%)	196 (54.4%)	54 (15.0%)	34 (9.4%)
性別	女性	204 (56.7%)	39	116	30	19
	男性	156 (43.3%)	37	80	24	15
年代別	20代以下	44 (12.2%)	4	30	7	3
	30代	76 (21.1%)	16	42	9	9
	40代	80 (22.2%)	11	49	12	8
	50代	73 (20.3%)	18	37	14	4
	60代	51 (14.2%)	15	23	6	7
	70代以上	36 (10.0%)	12	15	6	3

4 回答結果

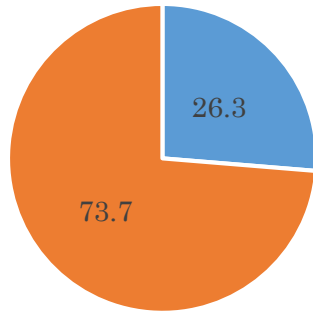
問1 新型コロナウイルス感染症の【流行前】、日常生活で自転車を利用していましたか。

①全体 (n=360)



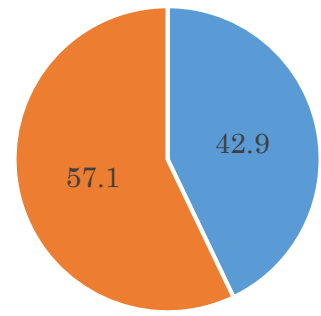
■ 利用していた ■ 利用していない

②北九州地域 (n=76)



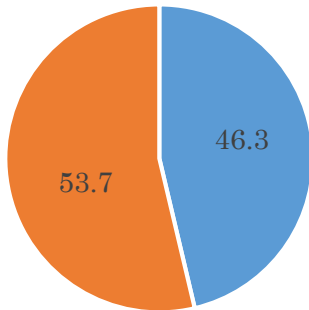
■ 利用していた ■ 利用していない

③福岡地域 (n=196)



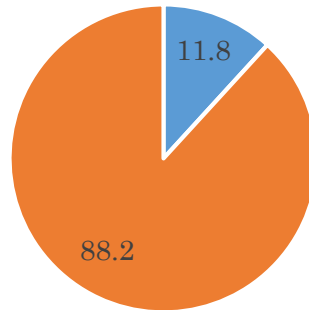
■ 利用していた ■ 利用していない

④筑後地域 (n=54)



■ 利用していた ■ 利用していない

⑤筑豊地域 (n=34)

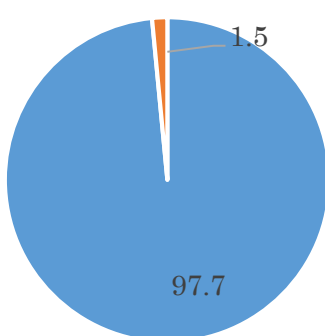


■ 利用していた ■ 利用していない

○全体では、新型コロナウイルス感染症の流行前に、約6割の方が「利用していない」と回答。
 ○地域別では、全地域において、「利用していない」と回答した方が多い。
 ○特に、北九州地域・筑豊地域では、「利用していない」と回答した方が7割以上と高い傾向にある。

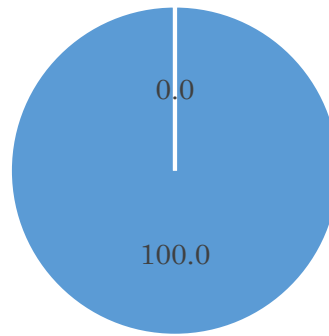
問2 利用している自転車の形態について選んでください。(問1で「利用していた」と回答した方)

①全体 (n=133)



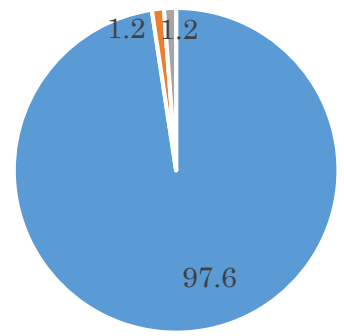
■ 自己所有の自転車
 ■ シェアサイクル、レンタサイクル等の貸出自転車

②北九州地域 (n=20)



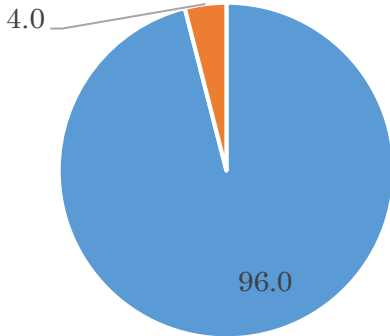
■ 自己所有の自転車
 ■ シェアサイクル、レンタサイクル等の貸出自転車

③福岡地域 (n=84)



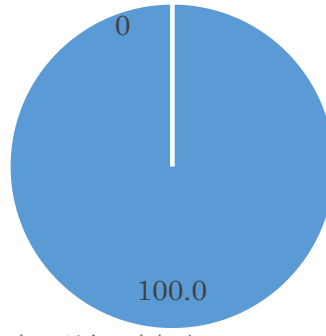
■ 自己所有の自転車
 ■ シェアサイクル、レンタサイクル等の貸出自転車
 ■ 無回答

④筑後地域 (n=25)



- 自己所有の自転車
- シェアサイクル、レンタサイクル等の貸出自転車

⑤筑豊地域 (n=4)

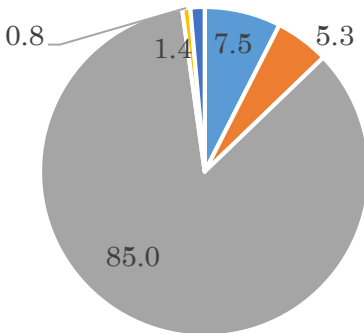


- 自己所有の自転車
- シェアサイクル、レンタサイクル等の貸出自転車

○全体として、新型コロナウイルス感染症の流行前に自転車を利用していたと回答した方の9割以上は自己所有の自転車を利用している。
 ○地域別では、全地域において「シェアサイクル、レンタサイクル等の貸出自転車」と回答した方は1割未満となっている。

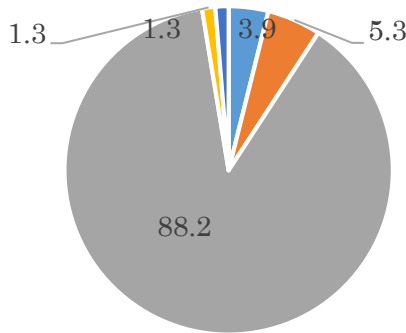
問3 新型コロナウイルス感染症の【流行後】、自転車の利用状況に変化がありましたか。

①全体 (n=360)



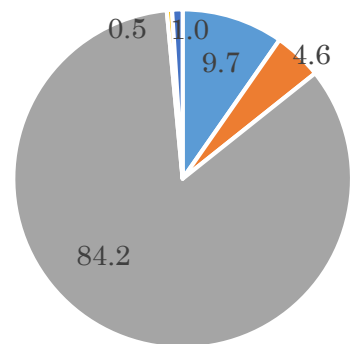
- 増加した又は新たに利用を始めた
- 減少した
- 変化なし
- 利用をやめた
- その他

②北九州地域 (n=76)



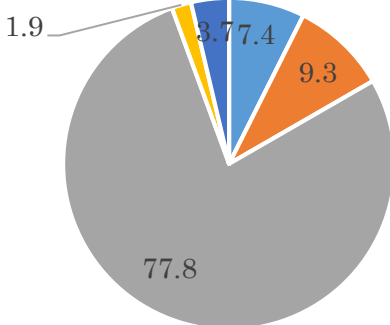
- 増加した又は新たに利用を始めた
- 減少した
- 変化なし
- 利用をやめた
- その他

③福岡地域 (n=196)



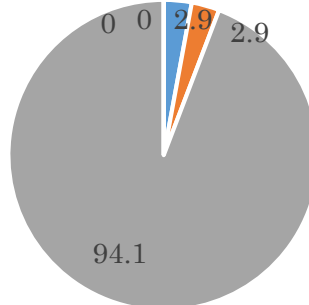
- 増加した又は新たに利用を始めた
- 減少した
- 変化なし
- 利用をやめた
- その他

④筑後地域 (n=54)



- 増加した又は新たに利用を始めた
- 減少した
- 変化なし
- 利用をやめた
- その他

⑤筑豊地域 (n=34)

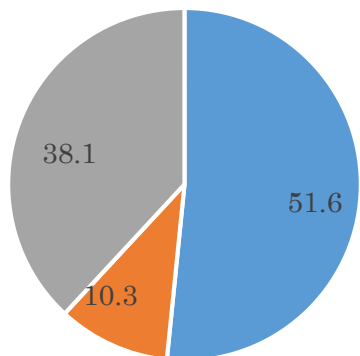


- 増加した又は新たに利用を始めた
- 減少した
- 変化なし
- 利用をやめた
- その他

- 全体として、新型コロナウイルス感染症の流行前と比べ、約8割の方が「変化なし」と回答。
- 地域別では、福岡地域において、「増加した又は新たに始めた」と回答した割合が「減少した」・「利用をやめた」と回答した割合を大きく上回っている。
- また、筑後地域では、「減少した」と回答した割合が約1割と他地域と比べ高い傾向にある。

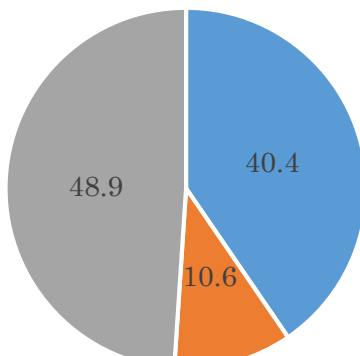
問4 新型コロナウイルス感染症【収束後】も、自転車を引き続き利用しようと思いませんか。

①全体 (n=252)



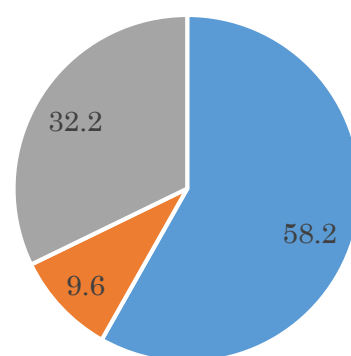
- 利用しようと思っている
- 利用しようとは思っていない
- 分からない

②北九州地域 (n=47)



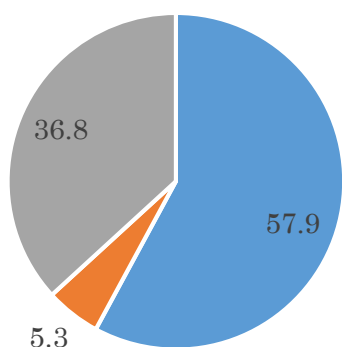
- 利用しようと思っている
- 利用しようとは思っていない
- 分からない

③福岡地域 (n=146)



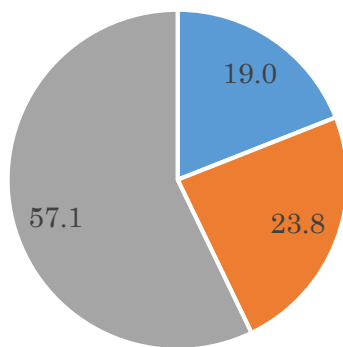
- 利用しようと思っている
- 利用しようとは思っていない
- 分からない

④筑後地域 (n=38)



- 利用しようと思っている
- 利用しようとは思っていない
- 分からない

⑤筑豊地域 (n=21)

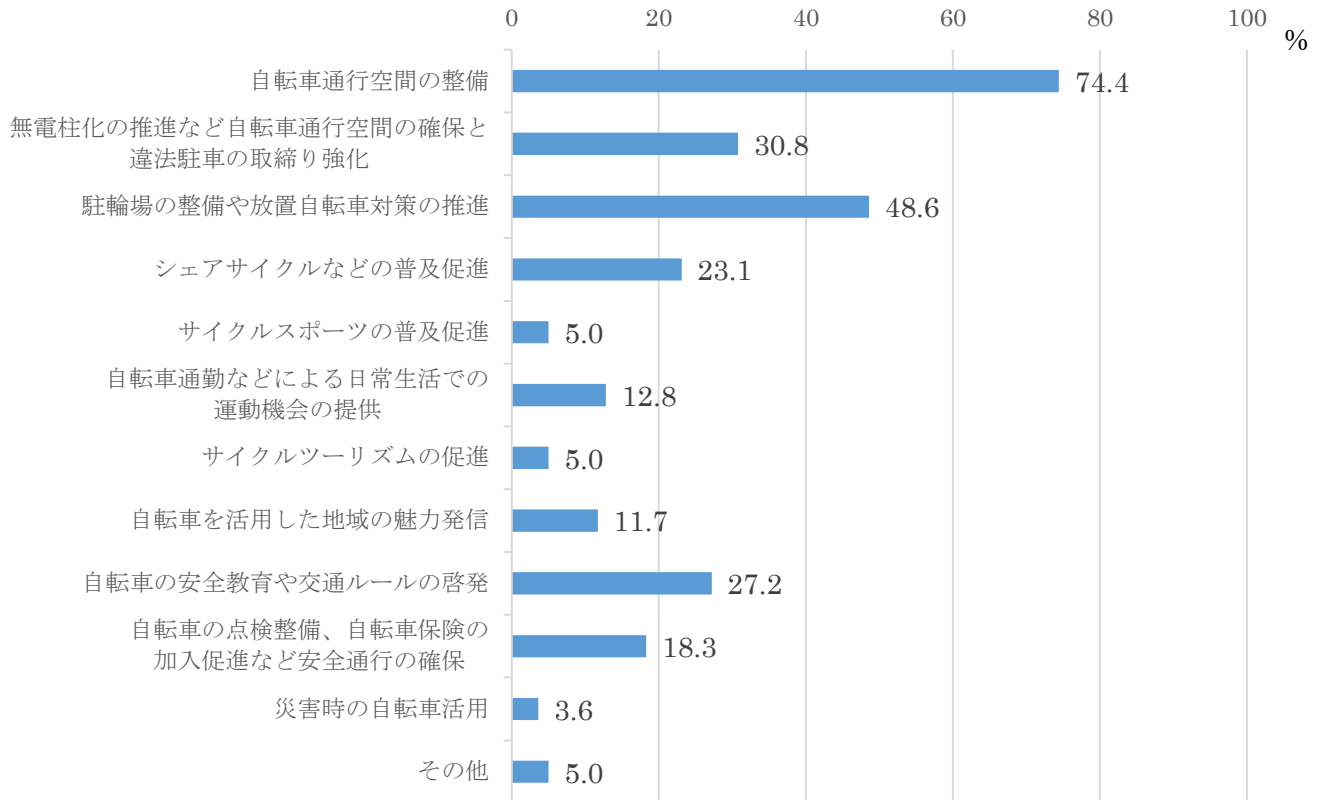


- 利用しようと思っている
- 利用しようとは思っていない
- 分からない

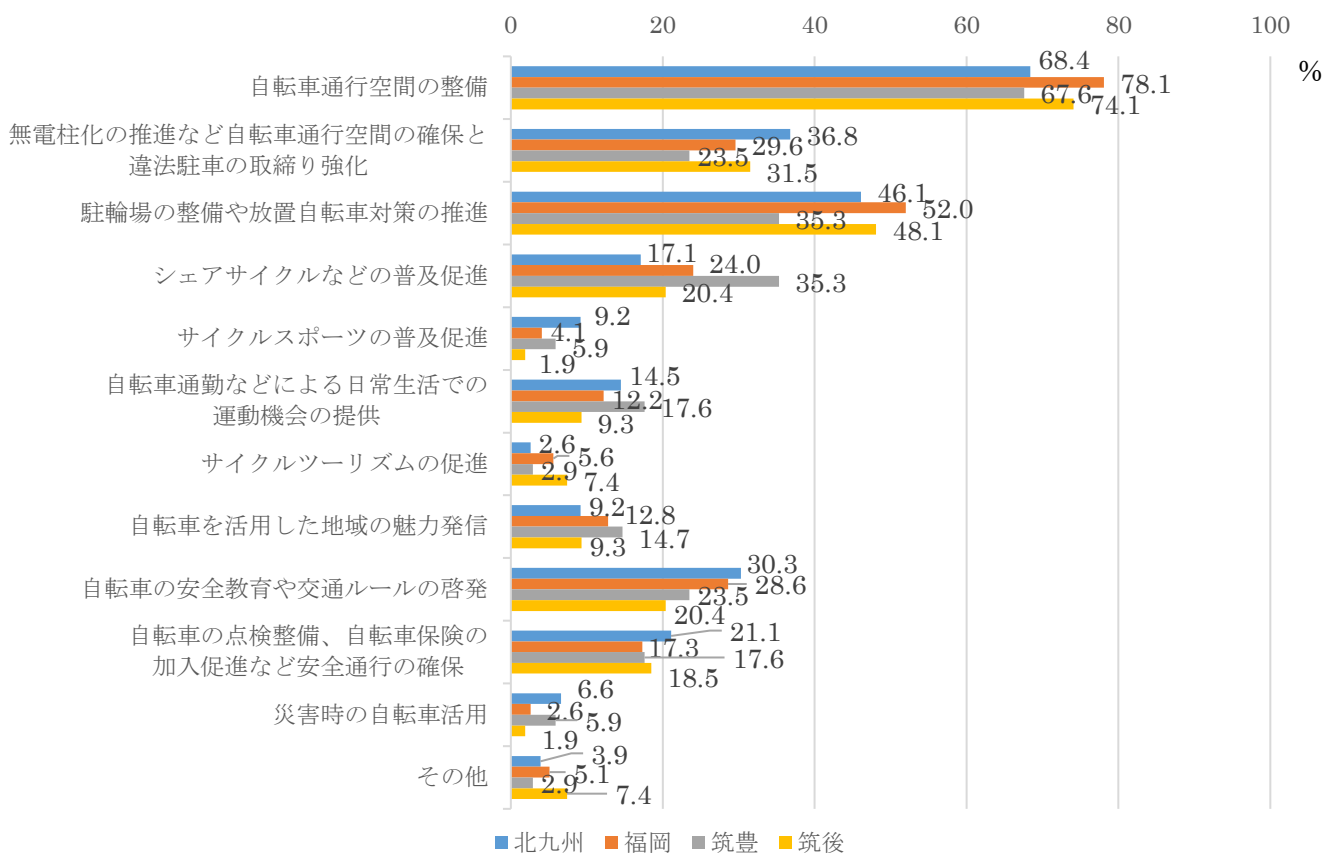
- 全体では、約5割の方が新型コロナウイルス感染症収束後も、「利用しようと思っている」と回答。
- 福岡地域及び筑後地域においては、約6割の方が新型コロナウイルス感染症収束後も、「利用しようと思っている」と回答しており、他地域と比べ高い傾向にある。
- 筑豊地域は、新型コロナウイルス感染症収束後も、「利用しようと思っていない」と回答した方が約2割と他地域と比べ高い傾向にある。

問5 自転車を利用する人を増やすために、どのような施策が必要だと思いますか。※3つまで

①全体 (n=360)



②地域別 (n=北九州地域 76、福岡地域 196、筑後地域 54、筑豊地域 34)



- 全体では、「自転車通行空間の整備」が約7割と最も多く、次いで「駐輪場の整備や放置自転車対策の推進」が約5割、無電柱化の推進など自転車通行空間の確保と違法駐車取締り強化が約3割となっている。
- 地域別では、筑豊地域において「シェアサイクル等の普及促進」が3割超と他地域と比べ高い傾向にある。